

サッカーロボット



岡山市・就実小1年 三谷原 里実

本とくにロボットがサッカーができるの？と、しんぶんを見て一ばんにおもいました。さらに、びっくりしたことは、「人げんがそうさしているわけではありません。」と、いうことがかかれていたことです。

しゃしんを見てロボットはどのくらいはやいのかな？こけたりしたらこわれないのかな？本とくにロボットがサッカーができるのかな？とおもって、ドイツのライブチヒでひらかれた「ロボカップ」をどうがでみてみました。

いろいろなロボットがサッカーをしていました。たとえば、大きくてかっこいいロボットや、小さくてかわいいロボットがいっぱいとうじょうしていました。うごきかたは、赤ちゃんみたいでした。こけたりこつするかととうじょうで、じぶんで立ち上がっていました。それで、じぶんで立っていてびっくりしました。いまならかてそうです。だけど

「2050年までに人げんのワールドカップ（W杯）のゆうしょうチームにしようりできるじりついでどうがたロボットのチームをつくることが目ひょうです。」とかかれていました。

「2050年にはロボットがどれくらいいつよくなっているかな？」とたのしみです。

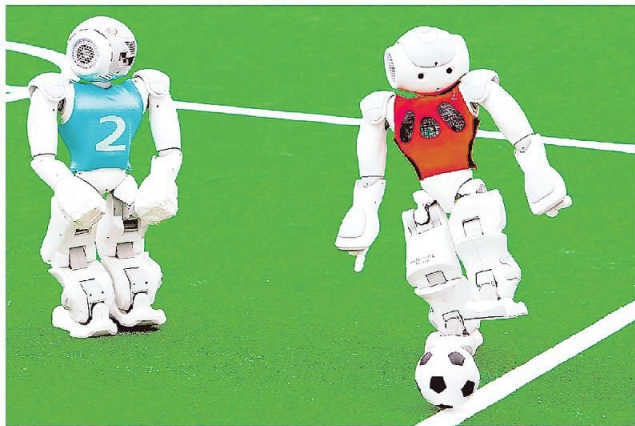
また、ライブチヒにいつてわたしもロボットとサッカーをしたいです。



人間に勝てるチームを

●ライブチヒ●
(ドイツ)

人型のロボットが軽快にサッカーボールをけっています。これは、ドイツ東部ライブチヒで開かれた、サッカーなどを通じてロボット技術を競う世界大会「ロボカップ」の一幕です。大会は今年で20回目。40カ国以上から約3500人が参加し、6月30日から7月4日まで熱戦を繰り上げました。



写真のロボットは、人間が操作しているわけではありません。ロボットが自分でボールの位置や他のロボットの動きを認識し、動いています。こうした自分で考え、動けるロボットは「自律移動型ロボット」と呼ばれています。

ロボカップ主催者は「2050年までに人間のワールドカップ（W杯）の優勝チームに勝利できる自律移動型ロボットのチームをつくることが目標です」と説明しています。（EPA=時事）

寸評

自律移動型ロボットを紹介する記事を読み、驚いたり、疑問に思ったりした気持ちを素直に表現し

ました。動画を探すなど、楽しく興味を深めている様子が伝わってきます。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。